



発行日 平成28年5月10日



No.2

地域に支えられながら育つ子どもたち ～環境は人をつくる～

校長 宮 居 伝

昨日から始まりました家庭訪問では、お忙しいなか貴重な時間をとっていただきありがとうございます。学校では気づかない子どもたちの家庭や地域での頑張りなど、多くの声をお聞かせいただけるものと楽しみにしております。

ところで、新しい学年が始まって、約1ヶ月が経ちました。子どもたちは、新しい学年や学級にも少しずつ慣れ、その学年らしさを発揮しつつあります。たいへんうれしいことです。

そのひとつに、集団登校があります。多くの登校班が、下学年の子どもたちを気遣いながら登校しています。なかには、重そうにしている学習用具を持ってあげている高学年の子どもや横断歩道で止まってくださった車の方に、みんなが渡り終えてから「ありがとうございます」とおじぎをする子どももいるなど、たいへんすばらしい姿を見かけました。

また、挨拶の声が響いてきたこともうれしいことです。下学年の子どもに「このようにするのだよ」と教えている高学年の子どももいます。何とも微笑ましい光景です。当たり前のことのようにですが、なかなかできないことです。

このような子どもたちの姿を見る時、きっと家庭でもマナーやルールをきちんと教えていただいているのだとの思いを持ちます。また、ボランティアで子どもたちの集団登校についてくださっている方も「今までからも上の学年の子たちから引き継がれてきたいところですよ。」とお話をお聞きしました。まさしく、家庭や地域での教育が土台となって、さらに学校教育で切磋琢磨していくということです。たいへんありがたいことです。

『環境は人をつくる』という言葉がありますが、ぴったりの光景ではないでしょうか。子どもにとっての環境は、物もあれば人もあります。家庭教育や地域の方々に支えられながら磨きをかけていく子どもたちです。4月の学校だよりのなかで「よく学び よく遊べ（いっぱい遊んでいっぱい勉強してほしい）」という願いを書きました。私は、芝生化された運動場で、大いに子どもたちに遊んでほしいと思っています。遊びのなかで、友（人）との交わり方やトラブルがあった時の解決の仕方を体感（社会生活をしていく上での礎となる小さな体験を）してくれるものと願っています。

そしてまた、私たち教職員の関わりも大きな環境です。日々の取組をはじめ、緊張感を持って取り組んで参りたいと思っています。

『環境は人をつくる』の言葉を大切にしながら、家庭や地域と連携し学校教育を進めていきたいと思っています。

今後とも、ご支援ご協力を、どうかよろしくお願いいたします。



東近江商工会青年部能登川支部の方々によるあいさつ運動



毎朝の子どもたちの安全を確保してくださっています



登校班長もがんばっています